

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0171200181		
法人名	有限会社 クローバー		
事業所名	ぐるーぶほーむ 花いちもんめ		
所在地	恵庭市恵み野東7丁目5-6		
自己評価作成日	平成29年2月1日	評価結果市町村受理日	平成29年3月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kan=true&JigyosyoCd=0171200181-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年2月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外観は季節感を出す為、ホーム周辺には花壇を作り、内観は側一面ガラス張りとなっており、日差しが入り大変明るくなっております。昔馴染のの和ダンスや置物、そして季節を漂わせる装飾品を飾り、風情ある落ち着いた空間を作っております。理念にも掲げている、愛情・やさしさ・思いやりをモットーに、利用者様一人ひとりと向き合い、身内や自分達も入居したくなる様なホーム作り、そして一日の生活の中でゆったりと会話や冗談等交わり笑ったり、また一瞬でも「ホームに入居して良かった」「幸せだな!」と感じていただける様な環境作りを目指し、日々利用者様と共に生活を送っています。特に、体力、能力維持等には、力をいれており、日課で行うラジオ体操や行進、座っても出来るストレッチ体操等、楽しく、生き生きと行っております。又、文字カードを使った、言葉作りや童謡に合わせた指体操、じゃんけんゲーム等の脳トレーニング等、行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ぐるーぶほーむ 花いちもんめ」は、バス停から徒歩3分ほどの交通便が良い静かな住宅地に建っている。商業ビルの1階を改修した1ユニットの屋内は全体的に広く開放感があり、共用空間には手作りの雛人形や装飾が品よく飾ってあり、家庭的で居心地よい雰囲気である。利用者は毎日のように周囲を散歩したり、近くの郷土資料館に出かけて休憩や催しを楽しんでいる。年間を通して外出の機会が多く、町内会主催の敬老会、クリスマス会や清掃に参加して住民とも交流している。看護師資格がある代表者は経歴を活かして平成16年に開設し、運営推進会議や避難訓練に町内会の協力を得て地域に根ざした運営を行っている。日々管理者と職員は理念に沿って利用者へ寄り添うケアを話し合い、外部研修への参加や勉強会も計画的に取り入れてケアの質向上に取り組んでいる。3ヵ月毎に介護計画を更新して担当職員のモニタリングを基にカンファレンスで話し合い、個別の目標に沿って丁寧に対応している。代表者と共に看護師資格がある施設長を中心に重度化になっても可能な限り対応し、家族の安心感にも繋がっている。家族との信頼関係を大切に、本人の様子を担当職員が詳細なお便りにして毎月送り、喜ばれている。暮らしの中心に彩り豊かな食生活を据え、利用者の満足度を重視しながら温かなサービスを提供している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様・ご家族の尊敬や願いを最大限尊重し、その人らしい暮らしを支えて行ける様理念を設けた。職員採用時には必ず理念の説明を行い日々念頭に置く様休憩室にも理念を掲げている。	経営理念に地域密着型サービスの内容が入っており、その精神に沿って事業所理念に「愛情・やさしさ・思いやり・希望」を設けている。職員はカンファレンスなどで日々理念を振り返り、利用者に寄り添うケアを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会しており、町内行事、町内清掃等にも積極的に参加している。又、定期的に来設されるボランティアさんもあり、散歩時には挨拶を交わしている。	町内会の敬老会やクリスマス会に招待されるなど、地域住民との交流を深めている。散歩している近所の犬と触れ合ったり、登下校で通る小学生と挨拶を交わしている。ボランティアの来訪で、ハーモニカ演奏を聴き、一緒に歌い、楽しい時間を過ごしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	いつでも気軽に立ち寄って頂き、見学・相談・悩み事等を受け入れる体制であり、時には助言させて頂く事もある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者の生活の様子や行事、災害対策、外部評価、研修等を報告し協議している。スタッフには、カンファレンスや申し送り等を通じて、サービスの向上に努めている。	会議を2ヶ月毎に開催し、運営状況の資料や広報紙を基に報告し、町内会や行政からも情報を得て意見を交換している。会議でアドバイスを得て、近隣住民に事業所行事への参加を呼びかけている。会議案内は家族代表のみに送付している。	全家族に、テーマを記載した会議案内を送り、参加できない家族の意見も得て会議の話題にし、また議事録も送付する事で、家族の参加や関心につながるよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議以外でも、恵庭GHネットワークで月1回の会議を行っているため、市担当者とも協力関係が築けている。他グループホームとも連携をとりながらサービスの向上に努めている。	書類提出で分からない時は、電話や市役所に出かけて確認している。市発行の広報紙から取り組み内容を把握しており、要請がある時は協力したいと考えている。生活保護担当者にはその都度連絡し、密に連携して情報を共有している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修に参加しており、各職員が身体拘束に対する知識と認識をもっている。利用者に対する対応をカンファレンス等で話し合い全員周知徹底している。日中は施錠せず、見守り、環境整備等を行っている。	職員は交代で、虐待・身体拘束の外部研修に参加し、勉強会で内容を共有している。事例に沿って対応方法を検討し、利用者に寄り添いながら拘束をしないケアを行っている。身体拘束の禁止行為についても理解し、外に出たい時は同行して安全に見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等で通じ得た知識をカンファレンスや日々の中で常に認識し合っているため、虐待防止については徹底している。		

ぐるーぷほーむ 花いちもんめ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	スタッフ全員、成年後見制度の研修を受けており、必要時、助言、アドバイスをを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には説明を行い、ご家族の方々からは、不安や疑問点はなく、理解されていると思われる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情兼意見箱を設置しているが、今日まで利用された方はいないが、日常的な関わりの中で思いを察知したり、また意見や要望をいつでも気軽に伝えられる様、良い関係作りにも努めている。	家族とのコミュニケーションを大事にし、電話や来訪時に報告の中で意見を聴いている。ケアの提案や介護計画の意向を確認し、ケア記録に家族連絡表を綴り、内容を共有している。毎月暮らしの内容を詳細に記載したお便りを送付している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案をいつでも反映できる体制作りをしている。カンファレンス以外でも、日々の中で気軽に話し合い、改善できる事はすぐ取り入れ、反映させている。	毎月のカンファレンスで参加できない職員の意見を事前に聞き、代表者も参加して全員で意見を交換している。業務改善等は現場で話し合い決めている。利用者担当職員からの報告に沿ってケアの対応方法を確認し、会議で勉強会も行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の話に傾聴する機会(個人面談)をもち、個々の努力を評価し更なる向上に繋がる様、努めている。又、働きやすい様、スタッフの意見を尊重し、疲労感が溜まらない様、有給休暇の使用も促し、配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者研修・スタッフ研修・GHネットワーク研修等、積極的に参加させている。その研修結果をカンファレンス時に報告し、研修内容を共有し、知識や技術の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他ホームの協力も得ながら、互いのホームへ研修に行き、交流を深めている。その他GHネットワークを通じ、各分野での勉強会を計画・実行し、地域全てのホームの質の向上を目指し、取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目		自己評価		外部評価	
				実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている		担当者・ケアマネが中心となり入居後も不安な事・要望等、傾聴している。スタッフもそれらの状況を受け止めコミュニケーションを大切にしかつ思いを尊重、信頼関係構築に努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている		見学に来られた際、ご家族の不安や願い等を傾聴し、十分受け止め理解した上で、ホームとして出来る事・役割等も説明し、信頼関係を築ける様、雰囲気作りにも努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている		相談時、ご本人やご家族の思いや状況を把握し、何が必要かを見極め、対応できる様、努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている		生活暦を生かした場がもてる様努め、職員も利用者様から日々学び、共に支えあう時間・関係作りをし、お互い共存し合っている。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている		月1度のお手紙や電話連絡・面会時等、日常生活を細かく伝え、情報を共有する事に努めている。協力得ながら、支援していく協力関係が築かれている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている		馴染みの知人等が来設した際には、再度足を運んで頂ける様、働きかけている。又、本人が「会いたい」と希望されている時には、ご家族の承諾を得て、連絡している。		住んでいた近くの知人が定期的に来訪している。家族の協力でお墓参り、カラオケや外食を楽しんでいる。郷土資料館の催しで地域から参加した知り合いの人に会うこともある。市内の事業所ネットワークで利用者間の交流会に参加している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている		日々、利用者様に変化がある為、個々の性格を理解し、その都度見極め配慮している。スタッフ全員情報を共有し、共同作業やレクリエーション活動・会話等を通して、より良い関係作りにも努めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後でもいつでも相談に来て欲しい事伝え、死去後も懐かしく思い遊びに来られる。公共施設等で会った際は挨拶等交わり、医療機関等の利用者にはお見舞いに伺う様にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中からも意向を汲み取り要求に答えられる様努めている。困難な場合は、ご家族から情報も得てニーズに繋がる様検討している。	ほぼ会話が可能で、意味を引き出しながら意向を介護計画書に取り込んでいる。課題分析アセスメントシートを3ヵ月毎に更新している。シートの項目で更に趣味や嗜好などの充実を考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の聞き取りの他、センター方式による基本情報をご家族に記入して頂き入居後も従前の生活様子等の話を聞かせてもらい、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムを把握し状況に合わせたケアが出来る様、努めている。カンファレンス時にも現状を十分に話し合いケアに活かせる様、努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族面会の際は、現状のケアについて報告し意見やアドバイスを頂く機会を設けている。それらの意見を担当者中心にカンファレンス時に検討し盛り込める事は、プランに追加している。	担当職員のモニタリングを基に会議で確認し、本人・家族の意向も含めて3ヵ月毎に介護計画を作成している。利用者担当の交代もあり、全員で状態を把握している。計画を参照しながら実施内容をチェックし、日々の記録を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気付いた事や言葉・表情等小まめにフロアシートへ記入しケース記録に反映、情報共有している。又必要に応じて、計画書の見直しを検討している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への受診・緊急受診は家族の要望に応じ職員が付き添い支援している。看護師が体調を管理し利用者様・ご家族の方々も安心して頂いている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内地域行事に参加させて頂いたり、いつでも協力して頂ける体制もできている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看護職員が中心となり、日常の健康状態を管理し、必要に応じて様々な医療機関を受診している。	かかりつけ医を継続し、主に施設長が同行しているが、内容によっては家族も一緒に付き添っている。必要に応じて受診結果を家族に報告している。4月より時系列に記録をまとめて分かりやすい記録の管理を予定している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を確保し、健康管理や医療面での助言をもらい支援している。何か異常がみられた際には、いつでも報告ができる様、24時間体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際には、小まめに面会を行い、安心して治療に専念できる様支援している。又、ご家族への報告も忘れずに行い、情報交換している。病院関係者とも情報交換をし、退院時の支援体制を整えられる様、努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看護職員が中心となり、本人や家族・医師・職員等、それぞれの方針・要望を全員で共有できている。又、運営推進会議を通して、地域の関係者とも共有し、支援に取り組んでいる。	利用開始時に、重度化への対応や医療行為を継続する場合は対応が難しいことを文書を基に説明し同意を得ている。状態の変化に沿って主治医の指導の下で看護師を中心に、点滴などで経過を見ながら可能な限り対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフ全員救命講習会に参加している。他、ミニ勉強会を開催し、定期的に行い実践力を身に付けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署指導の下、定期的に避難訓練を実施し、全職員でも定期的実施している。近隣の方や民生委員の方にも参加して頂き、協力体制を築いている。	消防署立会いで地震発生後の出火を想定して避難訓練を実施し、住民は誘導後の見守りで参加している。夜間を想定して自主訓練も行っている。避難場所を確保し、地震や停電なども想定して事業所内の危険個所の確認や対応を話し合っている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の誇りやプライバシー・自尊心を傷付けぬ様声掛けや対応には十分配慮し守秘義務も周知徹底理解している。	特に利用者を介護する場面では、プライバシーや自尊心に十分気をつけるよう指導を徹底している。個人情報に係る書類の保管に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から話しやすい雰囲気となる様個々に合わせた対応を心掛け出来る方は自己決定の働きかけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを把握しその日のスタッフが連携をとり個々に沿う支援や自由な過ごし方を基本として支援している。利用者様から「ゲームしよう!」と声を掛けてくる事も多い。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	近隣美容室での毛染めや訪問美容室によるカットを行って頂いている		

ぐるーぷほーむ 花いちもんめ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嫌いな食材あれば取り除いたり、器や盛り付け等で摂取して頂ける様工夫をしている。他、食べたい物や行事等に合わせ、食事内容を工夫している。	食べたいものを取り入れた献立から後片付けまで食事一連の流れに利用者が参加している。手作り弁当、外食、行事食、環境を活かした戸外での食事など、食の楽しみが多彩である。食事摂取の自立支援に力を入れている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量は個々に合った量で提供。水分摂取して頂けない方には小まめに提供する等工夫している。カロリー計算も行い栄養バランスも考えている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。夜間はポリドント洗浄を行い、出来ない部分や不十分な所は、必要に応じて支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックを行い、排泄パターンを把握した上で、個々に合った時間誘導を心掛けている。できる限りトイレで排泄出来る様援助し、自尊心にも十分配慮しながら支援している。	トイレに行く時の椅子からの立ち上がりが面倒である本人の気持ちを察し、言葉かけやタイミングの工夫をしている。トイレ等で排便に失敗した際に自ら汚れものを入れられるよう、分かりやすい表示のサニタリーグッズを置いている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動の働きかけや水分量・食事等にも工夫をし、薬に頼らずなるべく自力にて排便ができる様、個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は週6回行っているが、今日まで入浴時間の希望は聞かれず、声掛けにて入浴して頂いている。入浴拒否時は、無理強いせず、翌日に廻す等、本人に合わせた対応を行っている。	利用者個々に最低週2回の入浴を支援し、本人等の状況に応じて時間帯も変更している。お気に入りのシャワーチェアを自宅から持ち込み、使用している利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お昼寝の促し等個々の体調に配慮し生活リズムを作る様にしている。夜間不眠時は、暖かな飲み物を提供等気持ちの安定を図る様にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時には誤薬・誤飲がない様見守り・確認と薬を徹底し、理解もしている。変化時は看護師指示の下、必要に応じて受診する等の体制ができています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自然に役割分担されており積極的にお手伝いをして頂ける時もある。ホーム内で出前や外食・買い物等楽しんで頂ける様、支援している。		

ぐるーぷほーむ 花いちもんめ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の体調に配慮しながら悪天候以外は毎日散歩は行い本人の希望に応じて花の水遣りや草取り・外気浴・パークゴルフ等季節に合った外出を行っている。又ご家族対応協力の下外食や買い物・温泉・ドライブ等もやっている。	日々の散歩は、周辺の綺麗な町並みを歩き、花々を愛でたり行き交う人々との会話を楽しみ、冬場も散歩の希望に対応している。お花見など季節に応じた行事的外出や郷土資料館、地域やグループホームネットワークの催し物への参加、スーパーへの買い物等に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の希望・同意によりホームで管理をしている。小遣い所持者には料金確認を行いお孫様へお小遣い・病院代の支払い等行う事で満足されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望時は夜以外いつでも使用できる。以前は手紙を書き遠方家族へ送る事もあったが今は希望がない為職員援助の下、年賀状を送っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中日差しの強い時はロールカーテンをしたり夜間は、玄関ガラスに映る影やライトで混乱を招かない様カーテンを装着する等の工夫をしている。歩くスペース箇所には物を置かない様にし季節に応じた飾り物や花等を飾り、居心地良く過ごせる様工夫している。	共用空間のダイニング兼リビングルームは、広く明るい造りで、和の調度品や植物などを適所に設え、落ち着いた雰囲気であるとともに、戸外が見渡せて開放感がある。また、広い空間を活かし、運動が行われている。テレビは大画面で、其々の居場所から見ることが可能である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	洗面所前にも椅子とテーブルを置きいつでも座れる様にしている。また気の合う利用者様同士で自室にて一緒にお茶を飲み楽しめる姿もある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた物や馴染みの物等持参して頂いている。ぬいぐるみや造花・写真等、好みの物を飾ったり使いやすいベッドやタンス等置き、居心地良く過ごせる様にしている。	居室入り口には和紙に墨で書いた表札が掲げられている。大きめのクロゼット、ナースコールが備え付けられ、壁面の掲示物は、利用者の目線への配慮がある。一人ひとりの快適性や利便性に応じ、環境を整えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室には表札を設置しトイレもわかりやすく表示している。足元には物を置かない様配慮し安全かつ自立した生活が送れる様環境整備にも努めている。		

目標達成計画

事業所名 ぐるーぷほーむ 花いちもんめ

作成日：平成 29年 3月 5日

市町村受理日：平成 29年 3月 6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	全家族にテーマを記載した会議案内を送り、参加出来ない家族さんの意見も得て会議の話題にし、又議事録も送付する事で、家族さんの参加や関心につながるようにする。	毎回テーマを決め議事進行の中で、意見交換を行い、その結果を家族様に配布する。	テーマを決め話し合いの内容等を記載した、議事録を年6回全家族様に送付する。	1年間
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。